

平成 24 年度第 1 回泉区地域福祉保健推進協議会 議事録

平成 24 年 7 月 5 日に開催された、第 1 回泉区地域福祉保健推進協議会(以下、「協議会」という。)の概要について報告します。

I 開催状況

- 1 開催日時 平成 24 年 7 月 5 日 (木) 午後 2 時から 4 時まで
- 2 会場 泉区役所 4 階 4 ABC 会議室
- 3 出席者 計 45 人 (出席状況は出席簿参照)
(内訳)

協議会委員	29 人	(福祉保健センター長含む)
地域ケアプラザ	3 人	
泉区社会福祉協議会	4 人	
福祉保健センター各課	3 人	(福祉保健課長含む)
事務局等	6 人	(係長 1、担当 4、担当部長)

II 内容

- 1 開会あいさつ 福祉保健センター長
新任委員 (9 名) の紹介
- 2 報告・提案事項
 - (1) 第 2 期泉区地域福祉保健計画と泉区地域福祉保健推進協議会の役割について
(説明 事務局)
 - ・ [資料 1] に基づき説明
 - (2) 泉区地域福祉保健推進協議会運営要綱の改正について
(説明 事務局)
 - ・ [資料 2] に基づき説明

事務局から以後の会議の議事進行を「村井委員」にお願いすることを提案し、了承される。

- (3) 第 2 期泉区地域福祉保健計画の進捗報告
 - ア 平成 23 年度の推進報告、平成 24 年度の推進計画
(説明 福祉保健課)
 - ・ [資料 3] に基づき、平成 23 年度の泉区地域福祉保健推進協議会、12 地区別計画及び区計画の推進状況、計画推進イベントの実施状況及びこれらに関する平成 24 年度の推進計画、計画の中間期振り返り等について説明
 - イ 平成 24 年度の事業計画
 - (7) 高齢分野 (説明 高齢支援課)
 - ・ [資料 4] に基づき、「健康長寿推進」「一人暮らし高齢者の見守り」「認知症予防」「熱中症予防」等に関する事業について説明
 - (4) 障がい分野及び子ども・子育て分野 (説明 子ども家庭障害支援課)
 - ・ [資料 5][資料 6] に基づき、「障がい児・者の社会参画推進」「子育て支援ネットワーク」

「児童虐待防止や発達障害児への支援」等に関する事業について説明
(今回あげた事業は、区づくり推進に関わるものに限っており、課としての事業は多岐にわたっている)

(ウ) 健康づくり分野 (説明 福祉保健課)

- ・[資料7]に基づき、「食生活の改善」「口腔ケア」等に関する事業及び「地域協議会に諮問している健康づくり施策」について説明

(エ) 区社協関係 (説明 区社協事務局)

- ・[資料8]に基づき、平成24年度事業計画の概要(地区社協活動支援、ボランティアセンター事業、地域福祉権利擁護事業など)について説明

(質疑)

- ◎ 「一人暮らし高齢者見守り事業」について、あまり関わってほしくないと思っている高齢者もいる中で、どう支援を行っていくのか。
- ◎ 横浜市の事業で、昨年度モデルとして9区で取組を始めた。泉区では、民生と包括で一緒にこの事業の流れを作っていく予定。家庭訪問して情報を把握していくが、あまり関わってほしくないという人については、見守りは行っていくが、無理に踏み込んでいくつもりはない。苦労があると思われる事業であり、行政側からの情報がほしい。
お力添えいただくこともあると思うが、よろしくお願ひしたい。
- ◎ 災害時の要支援者についても取り組んでいるが、ネックになるのは個人情報の関係。本当に支援が必要な人の情報が少ない。
- ◎ 個人情報に関して、都内では条例の見直しが進み、やっと前向きな形になってきた。個人情報を守られて、人が死んでいくというようなおかしなことはなくなってきている。支援の必要な人を弱者として見るのではなく、本人のニーズを引き出せる関わりができるとうい。周知については「PR」と「広報」は異なる。PRとは、関係をつくること(リレーションズ)である。
幅広い方々への周知をよろしくお願ひしたい。

3 意見交換

テーマ「地域福祉保健計画推進のPRについて」

(1) 平成23年度推進イベントの実施報告

ア 事務局からの報告 (説明 事務局)

- ・[資料9]に基づき説明
- ・協議会が主体となつて行う事業として実施
- ・区民ホールイベント(2/27~29)と社会福祉大会第2部(3/1)で構成
- ・コンセプトは、「年齢者や障がいの有無等にかかわらず、誰もが何らかの形で福祉につながっていることを理解してもらう」
- ・参加者の状況(区民ホール350人、社会福祉大会500人)
- ・来場者アンケート(268人から回答 結果は[資料9-1]広報紙第3号参照)
- ・社会福祉大会では、第2部からの来場者は少なかった。

イ イベント参加者からの報告

(7) 富士見が丘地区

「パネル展示」を中心に報告

事業としてパンフレット集（団体紹介冊子）、団体のイベントをのせたカレンダーを作成し、この活動の成果をまとめたものを展示した。今は交流部会の中で今後のさらなる活用を検討している。

(4) 泉区訪問看護ステーション連絡会

「血管年齢測定・健康相談」を中心に報告

今回のイベントは、区民の皆さんと直接ふれあうことのできる貴重な場となった。次回もぜひ参加したい。

(2) 平成 24 年度推進イベントの計画（説明 事務局）

- ・ [資料 9][資料 10]に基づき説明

平成 24 年度の推進イベントの計画概要について説明

- ・ 昨年度と同様に、泉公会堂（社会福祉大会第 2 部）と区民ホールで開催する。

（日程）区民ホールイベント

⇒ 平成 25 年 2 月 26 日（火）～28 日（木）

泉公会堂イベント（泉区社会福祉大会第 2 部）

⇒ 平成 25 年 3 月 1 日（金）

- ・ 泉区社会福祉大会第 2 部のテーマ（案）は「こども・子育て」
- ・ 活動発表やパネル展示への参加をお願いするとともに、イベントの具体的な内容についてのアイデアをいただきたい。
- ・ 関係機関の皆さまについては、区民ホールイベントへの参加希望の有無について、9 月 28 日（金）までに事務局までお知らせいただきたい。

(3) 意見交換（説明 事務局）

各グループの主な意見

【1 グループ】※ 地区代表委員

- ・ 地域で若い人や子どもを呼ぶのも大変。広報を丁寧につくり、回覧板、掲示板等で地道に PR していくしかない。また、学校や PTA を通しての周知など。
- ・ 共通のテーマとしては、東日本大震災があつて「防災」や「絆」といったこともあるのではないか。
- ・ 先日の地域のお祭りでは、手品に子ども達が集まっていた。
- ・ しらゆり音頭、やることは大丈夫だが、若い人は来るかどうか・・・

【2 グループ】※ 地区代表委員

- ・ まずは自治会町内会などでしっかりした情報を持つ
- ・ 普段掲示板や回覧板で回しても、関心がなければあまり見てくれない
- ・ しかし、自分が興味を持てば（子育て・介護・高齢者見守りなど）、自分から情報収集をしようとするはずなので、その時にどこに聞けばいいのかわかるように認知させることから始める

【3グループ】※ 関係機関委員

- ・各団体は、地域密着な取り組みを行っているが、知られていないので、推進イベントで活動紹介を行ないたい。
- ・昨年度この推進イベントに参加し、自分たちの活動をPRする良い機会となった。今年度もぜひ参加したい。
- ・日ごろの取組に関する実演も含めて参加を検討したい。

【4グループ】※ 関係機関委員

- ・団体間で協力して実施している事業も多い。保育園のイベントにヘルスマイトの参加や歯科医の相談、地域の集まりで警察に来てもらって防犯の話をしてもらう等。
- ・今後の団体間で協力して行える取組の可能性として、保育園でのイベントで世代間交流を図る取組の実施の際に民児協との協力、ヘルスマイトと歯科の協力により食と歯からこどもの健康を守る取組等。
- ・ケアプラザでも様々な情報発信の媒体を持っている。ぜひ活用してほしい。
- ・子ども虐待の通報先について、住民に浸透していないと感じる。「通報」という言い方にも抵抗感があるのではないか。気軽な相談窓口のようなものがあるといい。イベントの場でぜひPRしてほしい。

【5グループ】※ 関係機関委員

- ・「計画のPR」を考えていく上では、計画全体のPRなのか個々の取組のPRなのかをはっきりさせた方がよいのではないか。
- ・「日ごろからのつきあいと非常時の支えあい」につながる「ペットとのふれあいイベント」を実施してはどうか。

4 まとめ

- ・前向きで建設的な意見がたくさん出ていたが、これが泉区の魅力だと思う。
- ・「活動のPR方法」について話し合っていたが、共通の生活課題については取り組まないわけにはいかないので、実際にはPRをしていないわけではない。
- ・実効性の高いつながりづくりのためには、情報に対する「感度」を高める必要がある。
⇒情報をキャッチしたら動く。
- ・誰が情報ネットワークの中核となっているかを見極め、そこから網の目のように広げていくという話があったが、若い時に地域活動に関わってもらおうという意味で、学校のつながり＝PTAなどは重要。
- ・「理解してほしい」、「協力してほしい」というだけでは何も生まれない。
情報を伝えた相手に対して、何をしてほしいかを訴えることが必要